学校番号	３１７

平成 31 年度　地理歴史科

教科	歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史Ａ　改訂版」　（山川出版）						
副教材等	図説　日本史通覧　（帝国書院）　　新日本史要点ノート標準編（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史事象に対して疑問を持ち、その背景・過程・結果を学習する。
・同じ失敗を繰り返さないように「過去の失敗から学び、生かす」という視点を持つ。
・歴史学習を通じて、「主体的な判断力」を身につける。

2　学習の到達目標

・諸資料に触れ、歴史的思考力・判断力・表現力を身につける。
・現代の諸課題を歴史的事象と結びつけ、歴史的観点から「生きる力」を養う。
・国際社会に主体的に生きるという自覚や資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心に日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	提出物 授業態度	授業態度、提出物 定期考査	提出物 定期考査	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近世社会の動揺と近代への胎動	・幕藩体制の動揺と政治改革 ・新しい経済構造と学問の芽生え ・日本をとりまく世界の変容	○	○ ○	○	○	a:幕藩体制がどのような過程で動揺し、新しい構造が生まれたかを理解しようとしている。 b:日本の政治体系が大きく転換する流れを世界各国の動きを踏まえて理解している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:日本の政治体系の大きな転換に際して、世界各国の動きを踏まえた細かい知識を身につけている。	提出物 授業態度 定期考査
	開国と明治維新	・アジアの激動と日本の改革 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新 ・富国強兵 ・明治初期の外交 ・殖産興業と文明開化	○	○ ○	○ ○	○ ○	a:江戸幕府と雄藩の対立からどのような過程で倒幕に至ったのかを理解しようとしている。 b:日本と諸外国との関係の中でどのように近代政策を進めていったかを理解しようとしている。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:日本の近代国家形成過程と諸問題についての知識を身につけている。	提出物 授業態度 定期考査

2学期	立憲国家の成立	・自由民権運動 ・立憲制の成立 ・立憲政治の展開 ・日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変容 ・明治の文化	○ ○ 	○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ 	a:日本の近代国家形成過程と諸問題について考察しようとしている。 b:自由民権運動が明治新政府の立憲政体作りに与えた影響は大きく、運動の過程で豪農・貧農層が自覚的に中心的な役割を担ったことが理解している。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:日本がアジアで初めて立憲政体を構築した歴史的意義を理解している。	提出物 授業態度 定期考査
	第一次世界大戦と日本	・政党政治の展開 ・ワシントン体制 ・経済・社会の変容 ・市民文化	○ 	○ ○ 	 ○	 ○ 	a:日本の護憲運動と大戦までの過程のなかで、どのようなものであったか考察できる。 b:日本がアジアに侵略を進めていく過程を図表なども通じ、理解しようとしている。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:政治のみならず経済・文化面における日本の状況を理解できている。	提出物 授業態度 定期考査
	昭和の恐慌と満州事変	・恐慌の時代 ・政党内閣期の内政と外交 ・軍部の台頭	○ 	 ○ ○	 ○ 	○ 	a:景気と政治、関東大震災の関係性について考察できる。 b:政治と軍部の関係について現代日本と比較しながら考察できる。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:国際的な協調外交の風潮下での国内の状況が把握できている。	提出物 授業態度 定期考査

	第二次世界大戦と日本	・日中戦争 ・重化学工業化と統制経済 ・第二次世界大戦と太平洋戦争	 ○ 	○ ○	○ ○	 ○	a:日本の重化学工業化の過程について考察できる。 b:戦時下の日本の外国との関係性について理解できる。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:戦時下での国民生活・国際状況と終戦についての知識を身につけている。	提出物 授業態度 定期考査
3学期	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	○ 	 ○	○ ○	○ 	a:日本政府と GHQ をはじめとする諸外国との関係を図表などを活用して理解しようとする。 b:西側陣営の一員として日本が独立を達成したことと、その問題点について正しく考察できている。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:独立を達成してから高度経済成長に至る過程をアメリカとの同盟関係、東アジア諸国との関係の中で正しく理解できている。	提出物 授業態度 定期考査

	経済繁栄と保守長期政権	・55年体制 ・高度経済成長期の経済と社会	○	○	○	○	a:政党政治について、図表なども活用しながら理解しようとする b:高度経済成長期の経済と社会について、世界の動きも踏まえながら考察することができる。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:貿易立国として大国化の進む日本の変化について文化・経済面を含め考察させる。	提出物 定期考査
	現代の世界と日本	・冷戦の終結と日本 ・日本社会の変容	○	○	○	○	a:日本社会の変容を世界との関係も踏まえて理解しようとする。 b:冷戦後の日本日本の経済発展について理解することができる。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりノートなどにまとめたりしている。 d:激変の世界情勢と日本とのかかわりについて多面的に理解させる。	提出物 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。